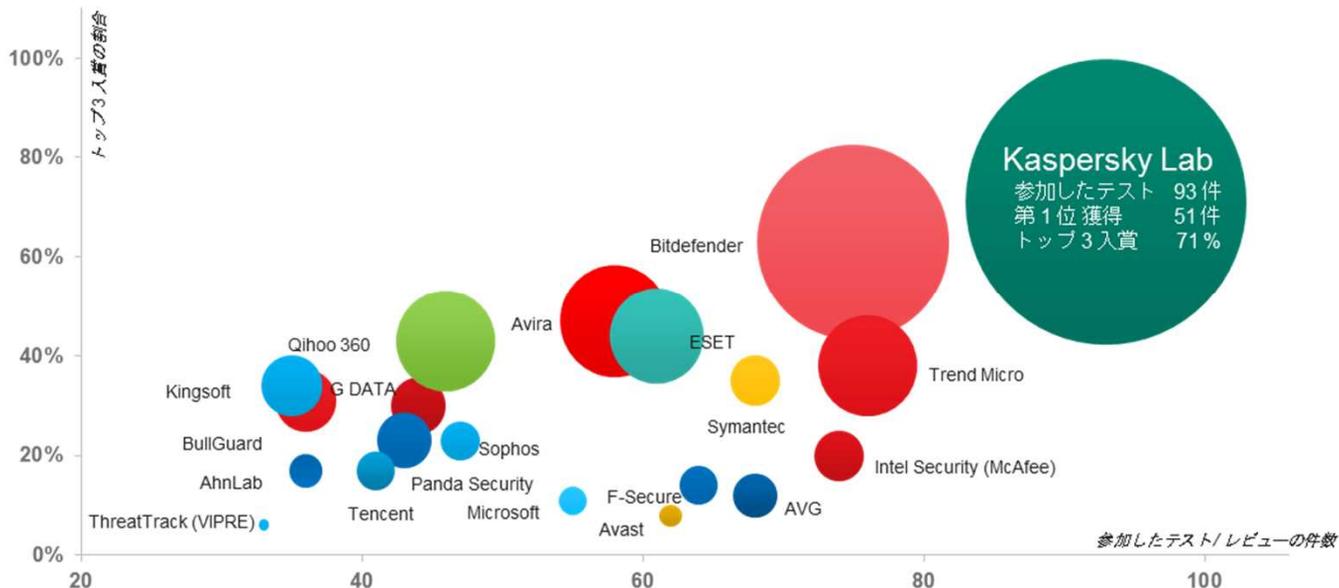


業界トップの保護性能を誇るカスペルスキー

2014年、Kaspersky Lab製品は、第三者評価機関による93件のテストおよびレビューに参加し、51件で第1位を獲得、トップ3入賞は66件(71%)でした。



注:

・企業向け、個人向け、モバイル向けの各製品を対象に、2014年に実施された第三者評価機関によるテスト結果に基づいて作成しています。

・テスト結果には、次の第三者評価機関および専門誌が実施したテストが含まれます。テスト機関: AV-Comparatives, AV-Test, Dennis Technology Labs, MRG Effitas, NSS Labs, PC Security Labs, Virus Bulletin

・円の大きさは第1位を獲得した件数を表しています。

2014年 トップ3 指標について

トップ3の指標は、調査報告期間(暦年)中にベンダーがテストで上位3位内に入賞した件数の割合を表します。

トップ3 測定対象のアンチウイルス製品のベンダーは、Avast、AVG、Avira、Bitdefender、BullGuard、ESET、F-Secure、G DATA、Kaspersky Lab、Intel Security (McAfee)、Microsoft、Panda Security、Sophos、Symantec、Trend Micro などです。全ベンダーについては、最後のページをご覧ください。

算出機会の均等を図るために、35%以上のテストに参加しているベンダーの結果のみがグラフに表示されています。テストに参加すると、各ベンダーの2つのカウンタ(トップ3カウンタとパーティシペーションカウンタ)に変化が生じます。

1. ベンダーのトップ3カウンタは、ベンダーがテストの上位3位内に入るか賞を獲得するたびに加点されます。それ以外の場合、カウンタへの加点はありません。1つのテストで複数のベンダーが同じ順位になった場合、後続のベンダーの順位は「上位のベンダーの数 + 1」として計算されます。たとえば、順位が「1、2、4」になることはありますが、「1、2、2、3」になることはありません。つまり、順位が「1、2、2、4」の場合にトップ3カウンタが加点されるのは、最初の3つのベンダーのみです。最終結果としてメダルが授与されるテストの場合は例外があります。このようなテストでは、複数のベンダーが「プラチナ」、「ゴールド」、「シルバー」などを受賞することがあります。その場合は、上位3つのメダルを授与されたベンダーについて、トップ3のパーティシペーションカウンタが加点されます。1つのベンダーから複数の製品が参加している場合、ベンダーのトップ3カウンタは他の製品とは関係なく製品ごとに加点されます。
2. ベンダーの製品がテスト/レビュー/総合評価に参加するたびに、(最終結果に関係なく、)ベンダーのパーティシペーションカウンタが加点されます(その後、各種テストの総合得点と比較されます)。

トップ3カウンタをパーティシペーションカウンタで割ってパーセンテージに変換したものが、最終結果(トップ3指標)となります。

	参加した テストの 件数	トップ3 入賞 件数	トップ3 入賞の 割合 (%)	第1位 獲得 件数
Kaspersky Lab	93	66	71%	51
Bitdefender	75	47	63%	35
Trend Micro	76	29	38%	18
Avira	58	27	47%	20
ESET	61	27	44%	17
Symantec	68	24	35%	9
Qihoo 360	46	20	43%	18
Intel Security (McAfee)	74	15	20%	9
G DATA	44	13	30%	10
Kingsoft	35	12	34%	11
Sophos	47	11	23%	7
BullGuard	36	11	31%	11
Panda Security	43	10	23%	10
F-Secure	64	9	14%	7
AVG	68	8	12%	8
Tencent	41	7	17%	7
Microsoft	55	6	11%	5
AhnLab	36	6	17%	6
Avast	62	5	8%	4
ThreatTrack (VIPRE)	33	2	6%	2

2014年トップ3 指標について (続き-1)

対象テスト (2014 年末まで)

ANTI-MALWARE

▶ ペアレンタルコントロールテスト

このテストは、好ましくないサイトを子供に閲覧させないようにするアンチウイルスフィルタの効率性を評価します。各製品はカテゴリ内でポイントを取得し、最終スコアに応じて「プラチナ」、「ゴールド」、「シルバー」、「ブロンズ」のいずれかを受賞します。全体のパフォーマンスによっては、受賞が取り消しになる場合もあります。「プラチナ」、「ゴールド」、「シルバー」を受賞したベンダーについて、トップ3 カウンタが加算されます。

AV-COMPARATIVES

▶ Product of the Year (年間最優秀製品)

この賞は、1年を通じたテストサイクルの成績が特に優れていたベンダーに授与されます。テストサイクルに含まれるテストは、ファイル検知テスト(FDT)、製品全体のダイナミックテスト(WPDT)、プロアクティブテスト、マルウェア除去テスト、アンチフィッシングテスト、ペアレンタルコントロールテストです。2つのベンダーが同じ最高スコアを獲得した場合は、AV-COMPARATIVESのルールに従い、前年に受賞していないベンダーに賞が授与されます。受賞者となったベンダーについてのみ、トップ3 カウンタが加算されます。

▶ ファイル検知テスト

このテストには、検知率テストと誤検知テストの2つが含まれます。テスト結果として、各製品は「Advanced+」、「Advanced」、「Standard」または「Tested」のいずれかの認定を取得します。製品が「Advanced+」を取得した場合のみ、そのベンダーのトップ3 カウンタに加算されます。また、すべての結果を検知率で順位付けし、駆除率で上位3位内の製品について、そのベンダーのトップ3 カウンタが加算されます。

▶ WPDT (製品全体のダイナミック「リアルワールド」テスト)

これは、おもに活動中の明白かつ有意な悪意のあるWebサイト/マルウェアを使用して4か月間行ったり実施されるテストです。製品のすべてのコンポーネントが保護に重要な役割を果たすため、現実世界に即したシナリオにおけるアンチマルウェア製品の全体的な効率性を、この結果から評価することができます。

▶ 製品が「Advanced+」を取得した場合のみ、そのベンダーのトップ3 カウンタが加算されます。また、すべての結果を保護率で順位付けし、結果が上位3位内の製品についても、そのベンダーのトップ3 カウンタが加算されます。

▶ レトロスペクティブ/プロアクティブテスト

このレトロスペクティブテストは、新しいマルウェアおよび未知のマルウェアに対して製品を評価し、(ヒューリスティック、ジェネリックシグネチャなどによる)プロアクティブな検知能力を測定します。このテストでは、誤検知率も考慮されます。2012年からは、残存するマルウェアファイルも実行されるようになったため、動作ブロッカーなどによるプロアクティブな保護も評価の対象となります。「Advanced+」を取得したベンダーについて、トップ3 カウンタが加算されます。

▶ モバイルセキュリティレビュー

このレビューでは、マルウェア保護テストと他の機能(盗難対策、バッテリー消費など)の総合評価を実施します。保護率で上位3位内の製品について、そのベンダーのトップ3 カウンタが加算されます。

▶ Mac セキュリティテスト & レビュー

このレビューでは、さまざまなMac向け保護製品を、製品機能一覧に対して評価し、Mac関連と

Windows関連を区別してのマルウェア検知率や誤検知レベルといったカテゴリにおける保護レベルを測定します。保護率で上位3位内の製品について、そのベンダーのトップ3 カウンタが加算されます。

▶ マルウェア駆除テスト

8か月間にわたるこのテストでは、おもにセキュリティ製品のマルウェア駆除/除去機能を調査します。そのため、統計に基づいてサンプルが検知される必要があることを考慮してサンプルが選定されます。このテストでは、システムから問題なくウイルスを駆除できるか、つまり、すでに感染しているシステムからマルウェアとその痕跡を除去できるかどうかがおもに問われます。

▶ 製品が「Advanced+」を取得した場合のみ、そのベンダーのトップ3 カウンタが加算されます。また、駆除率で上位3位内の製品について、そのベンダーのトップ3 カウンタが加算されます。

▶ ペアレンタルコントロールテスト

このテストは、好ましくないサイトを子供に閲覧させないようにするセキュリティ製品の効率性を評価します。各製品にはカテゴリ別にポイントが付与され、総合スコアで順位が決まります。上位3位内の製品について、ベンダーのトップ3 カウンタが加算されます。

▶ 中小企業向け製品レビュー

このテストは、中小企業向けのさまざまなアンチウイルス製品の保護性能を評価します。製品レビューで総合的なレベルが高かった製品に賞が授与され、その製品のベンダーのトップ3 カウンタが加算されます。

2014年トップ3 指標について (続き-2)

AV-TEST

▶ 個人向け製品と法人向け製品の隔月認定

1年にわたるこの連続認定では、製品を個人向けと法人向けに区分し、テストを繰り返し実施します。テストは2か月を1単位として区ごとに6回実施されます。参加しているすべての製品が評価され、保護性能、パフォーマンスおよびユーザビリティの各カテゴリでポイントを取得します。ポイントの合計が総合スコアとなります。総合スコアに基づく上位3位内の製品について、トップ3カウンタが加算されます。

▶ 個人向け製品と法人向け製品のベストプロテクション賞

この賞は、隔月認定の保護性能のカテゴリにおいて1年間にわたり完璧な成績を取った製品に対し、個人向け製品と法人向け製品に分けて授与されます。この賞を授与された製品についてのみ、そのベンダーのトップ3カウンタが加算されます。

▶ 個人向け製品と法人向け製品のベストパフォーマンス賞

この賞は、隔月認定のパフォーマンスのカテゴリにおいて1年間にわたり完璧な成績を取った製品に対し、個人向け製品と法人向け製品に分けて授与されます。この賞を授与された製品についてのみ、そのベンダーのトップ3カウンタが加算されます。

▶ 個人向け製品と法人向け製品のベストユーザビリティ賞

この賞は、隔月認定のユーザビリティのカテゴリにおいて1年間にわたり完璧な成績を取った製品に対し、個人向け製品と法人向け製品に分けて授与されます。この賞を授与された製品についてのみ、そのベンダーのトップ3カウンタが加算されます。

▶ ベストリペア賞

この賞は、隔月認定の修復のカテゴリにおいて1年間にわたり完璧な成績を取った製品に対し、個

人向け製品と法人向け製品に分けて授与されます。この賞を授与された製品についてのみ、そのベンダーのトップ3カウンタが加算されます。

▶ 個人向け製品と法人向け製品の耐久テスト

この6か月分のテストは、3回のテストサイクルで保護性能について取得した結果を累積したもので、参加した製品の結果は個人向けと企業向けに分けて発表されます。ポイントの合計が総合スコアとなります。総合スコアに基づく上位3位内の製品について、トップ3カウンタが加算されます。

▶ Android モバイルセキュリティ製品テスト

1年にわたるこの連続認定では、2か月単位のテストを6回実施します。参加しているすべての製品が評価され、保護性能、ユーザビリティおよび機能の各カテゴリでポイントを取得します。ポイントの合計が総合スコアとなります。総合スコアに基づく上位3位内の製品について、トップ3カウンタが加算されます。

▶ 最優秀 Android セキュリティ製品

この賞は、Android セキュリティテストにおいて1年にわたり完璧な結果を取った製品に授与されます。この賞を授与された製品についてのみ、そのベンダーのトップ3カウンタが加算されます。

▶ 上半期と下半期の Android 耐久テスト

この6か月分のレポートでは、参加製品の保護性能についての結果を累積したものが発表されます。ポイントの合計が総合スコアとなります。総合スコアに基づく上位3位内の製品について、トップ3カウンタが加算されます。

▶ Windows XP でのエクスプロイト保護

このテストは、あるベンダーの委託に基づき、利用者の多い個人向け製品について実施されるもので、Windows XP の脆弱性を標的にしたエクスプロイトに対する保護能力を測定します。総合結果で上位3位内の製品について、そのベンダーの

トップ3カウンタが加算されます。

▶ 仮想デスクトップセキュリティテスト

Kaspersky Lab の委託に基づき実施されるこの独立比較テストでは、仮想環境向けセキュリティ製品を対象に、現実世界で流行しているマルウェアに対する保護能力とパフォーマンスへの影響を、仮想デスクトップインフラストラクチャ (VDI) 環境で分析します。スコアが上位3位内のベンダーについて、トップ3カウンタが加算されます。

▶ Mac セキュリティ製品テスト

このテストは、Mac OS X 向けさまざまなセキュリティ保護製品を評価します。検出率で上位3位内の製品について、そのベンダーのトップ3カウンタが加算されます。

DENNIS TECHNOLOGY LABS

▶ アンチウイルスによる保護テスト (大企業向け製品)

▶ アンチウイルスによる保護テスト (個人ユーザー向け製品)

▶ アンチウイルスによる保護テスト (小規模オフィス向け製品)

これらのテストは、著名なセキュリティ製品ベンダーが提供するアンチマルウェア製品の効力を比較することを目的としています。このテストでは、テスト期間中にインターネット上に現存する脅威を利用し、各製品の対処能力を調査します。利用者が体験する実際の状況に近いリアルな方法が採用されているため、いずれかの製品を使用するユーザーが、感染した Web サイトにアクセスしたときに起こりうる状況が結果に反映されます。このテストには、検知テストと誤検知テストが含まれます。正確なスコア (2種類のテストの得点を組み合わせて求められた値) がもっとも高い3つの製品について、そのベンダーのトップ3カウンタが加算されます。

2014年トップ3 指標について (続き-3)

MRG EFFITAS

▶ オンラインバンキング / ブラウザのセキュリティ認定

このテストでは、「In The Wild」(実際に感染報告がある活動中)の各種金融系マルウェアを使用し、ポッドネット環境内および多様な技法による機密データの傍受を再現するシミュレータ上で、さまざまなテスト手法およびシナリオを用いて金融系マルウェアに対する保護性能を評価します。すべてのテストに合格した製品のみが認定を取得し、この場合も、そのベンダーのトップ3 カウンタが加点されます。

▶ 360 Assessment & Certification

このテストでは、各セキュリティ製品を対象に、初期感染を防ぐ能力を評価すると同時に、感染したシステム上のマルウェアを検知してから最後の1つを無効化するまでの時間も測定します。このテストは「Time to Detect & Remediate Assessment」テストの後継にあたります。製品が認定を取得した場合のみ、そのベンダーのトップ3 カウンタが加点されます。

▶ Real World Enterprise Security Exploit Prevention Test

Kaspersky Lab の委託に基づくこのテストでは、脆弱性攻撃をブロックする能力を評価します。フル機能の KES、AEP 機能のみを持つ KES、および他の5つのベンダーの製品をインストールしたエンドポイントインスタンスを対象に、110のテストケースが試行されました。ここでも、検知率で上位3位内の製品について、そのベンダーのトップ3 カウンタが加点されます。

▶ Time to Detect & Remediate Assessment

「360 Assessment & Certification」の前身であるこのテストでは、エンドポイントが活動中(In The Wild)のマルウェアに感染するのを防ぐ能力を評価します。感染した場合は、感染を検知してから

システムを修復するまでの時間が24時間測定されました。ここでも、検知率で上位3位内の製品について、そのベンダーのトップ3 カウンタが加点されます。

NSS LABS

▶ Consumer Endpoint Protection テスト

このテストは、エンドポイントセキュリティ製品を対象に、ソーシャルエンジニアリング手法を用いたマルウェア攻撃をブロックする能力を評価します。ブロック率で上位3位内の製品について、そのベンダーのトップ3 カウンタが加点されます。また、Kaspersky Internet Security が「推奨」を受賞した場合も、Kaspersky Lab のトップ3 カウンタが加点されます。

PCSL (PC SECURITY LABS)

▶ Android 向けモバイルセキュリティ製品テスト

このテストでは、モバイル向け製品の検知率と誤検知を評価します。参加した各製品の順位は最終スコアで決まります。上位3位内のベンダーについてのみ、トップ3 カウンタが加点されます。上位3位内の製品について、そのベンダーのトップ3 カウンタが加点されます。

▶ Android 向け年間最優秀製品

この賞は、Android のセキュリティテストで1年にわたり完璧な成績を収めた製品に授与されます。この賞を授与された製品についてのみ、そのベンダーのトップ3 カウンタが加点されます。

▶ エクスプロイト緩和テスト

あるベンダーの委託に基づくこのテストは、参加しているセキュリティ製品の脆弱性攻撃ブロック能力の効率性を評価します。脆弱性攻撃ブロック性能で上位3位内の製品について、そのベンダーのトップ3 カウンタが加点されます。

VIRUS BULLETIN

▶ VB100 比較レビューおよび認定

このテストは隔月で実施されるもので、毎回異なるオペレーティングシステムに基づき種類の異なる製品を評価しています。テストに合格して認定を受けた各製品について、そのベンダーのトップ3 カウンタが加点されます。

トップ3 測定対象：アンチウイルス製品ベンダーリスト

- Aegislab
- Agnitum
- AhnLab
- Alibaba
- Anguanjia
- Antiy Labs
- Arcabit
- Ariasecure
- Avast
- Avetix
- AVG
- Avira
- Baidu
- Bitdefender
- Bluepex
- Bornaria
- BullGuard
- Check Point
- Cheetah Mobile
- Commtouch
- Comodo
- ContentKeeper
- Cranes
- Cyren
- Defenx
- Dr.Web
- DU Apps Studio
- Emsisoft
- Entensys
- eScan
- ESET
- ESTsoft
- Faronics
- Fortinet
- F-Secure
- G DATA
- G-Protector
- Hauri
- Heise
- HitmanPro
- Ikarus
- Inca
- Intego
- Iolo
- iSheriff
- Jarviz
- K7
- Kaspersky Lab
- Kingsoft
- Kromtech
- KSMobile
- Kyrol
- Lavasoft
- Lenovo
- Malwarebytes
- Maya
- Intel Security (McAfee)
- Microsoft
- Microworld
- MSecure Data Labs
- NetQin
- Norman ASA
- NQ
- NSHC
- Optenet
- Panda Security
- PC Pitstop
- PSafe
- Qihoo 360
- Quarri
- Quick Heal
- Roboscan
- SecureAlive
- Skydns
- SoftSphere Technologies
- Sophos
- SourceFire
- SPAMfighter
- SUPERAntiSpyware
- Symantec
- Tencent
- Total Defense
- Trend Micro
- TrustGo
- Trustlook
- TrustPort
- ULIS
- ThreatTrack (VIPRE)
- Visual Threat
- Webroot
- White Gate
- Wifi protector
- wontok
- Zemana
- ZeoBIT LLC
- Zoner